

近畿大学農学部 緑友会会報

第22号

発行所

近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 川西 正子
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
http://www.nara.kindai.ac.jp/

どうすれば、情報を

「お手元」に届けてできるか?

緑友会会長 松田 克礼



緑友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、皆様方には平素から緑友会に格別なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、東大阪キャンパスでは「超近大プロジェクト」が進行しており、本年4月には新たな学術拠点「アカデミックシアター」が完成しました。そのコンセプトは「文理の垣根を越えて社会の諸問題を解決するための学術拠点。近大独自の分類法を導入した図書館、24時間利用できる

設置をお願いしているところです。前述のような情報は、本部キャンパスや農学部のホームページをほとんど進んで頂ければ得ることが出来ます。しかしながら、何の目的もないのに、わざわざ大学のホームページを見るのも面倒くさいものです。緑友会のホームページもどこにあるのか分からないのが現状です。もし、日常も歩くスマートフォンが利用できればどうでしょうか?例えば、フェイスブックの利用。緑友会から卒業生の方々へ、また、卒業生の方々から緑友会へ情報を発信して交換する。SNSの利用が可能か否か、本年度の課題として検討したいと思っております。

最後にになりましたが、皆様方の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。なお、学生時代の同級生や先輩・後輩の連絡先を知りたい時、退職された先生の様子を知りたい時には、緑友会の事務所にお問い合わせください。可能な限り対応させていただきます。どうぞ、ご遠慮なくご利用ください。

「まほろば」からの発信.. 創立60周年に向けて

農学部長 重岡 成



緑友会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より農学部発展のため、多大なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰さまで近畿大学の受験者総数も4年連続日本一、農学部も前年度比12.6%で受験者総数も約18000人となりました。女子学生、農学系女子・ノケジョにも人気で、全体の40%を占めています。さて農学部は、1958年(昭和33年)に創立され来年で60周年、そして奈良キャンパスに移転(平成元年)して30年を迎えます。その記念

事業として、奈良キャンパスに多目的ホールの建設を予定しています。これと並行する形で、食品栄養学科の調理実習室の建設、そして図書館の拡充整備を図ります。これも環境生命・健康・食糧というキーワードで、農学部としてのブランド力、そしてアイデンティティを高めるべく、日々の教職員の知力を結集した成果の賜物と思っております。さらに昨年、本学は地域社会の形成と発展、教育・研究の進行および人材の育成を図るべく、奈良県、平群町などと包括協定を結んでいます。このような状況から、農学部として産官学連携強化のための「実学研究」を効率的かつ円滑に行える拠点形成

の充実(研究所の設立)を図りたいと考えています。そのためには、大卒生、人としての我々は、研究活動としての論文、特許、学会発表などを介して皆さんに成果を知らしめ、それらが世の中に役に立つ「実学研究」となることを目指します。君の名は、押しも押されぬ農学部! 受験生に選ばれる、在校生に好まれる、愛される、そして卒業生、修了生に喜ばれる農学部! 緑友会の皆様には、今まさに本学の中心学部のひとつとして、躍進を続ける農学部の現状をご理解いただき、さらなるご支援を切にお願いします。最後になりましたが、皆様の「ご多幸とご健康を祈りし、挨拶させていただきます。緑友会からご支援頂いております。

本年11月に近畿大学農学部緑友会第9回総会・懇親会を開催いたします。近畿大学農学部卒業のみならず、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。みなさまの母校農学部も、ここ最近の近畿大学の発展に大きく寄与しております。社会人となった卒業生の中には、近大農学部OBのつながりをビジネスに活かして活躍の方も大勢いらっしゃいます。緑友会は、近畿大学農学部とその卒業生と共に歩んで参りました。その設立から20年以上が経ち、このたび近畿大学農学部緑友会第9回総会(平成26~28年度事業報告・収支決算報告ならびに平成29~31年度事業計画・予算・人事案)を、平成29年11月3日(祝)正午より近畿大学農学部209教室にて開催いたします。総会終了後には、食堂において懇親会を開催いたします。この懇親会の際は、卒業生同士の情報交換・交流の場でもあります。この機会を是非ご活用頂き、新たなつながりが生まれることを期待しております。懇親会には、現役教員も参加いたしますので、大学と社会のつながりにも貢献できるのではないかと期待しております。ビジネスのみならず、この機会を同窓生との会合の場として利用頂いても良いかと思っております。総会開催当日は農学部祭が催されておりますので、ご家族お揃いでお越し頂いても楽しめると思います。ぜひ多くの卒業生みなさまの参加をお願い申し上げます。現在、緑友会は、会員から納付頂いた1万円の終身会費で運営されております。終身会費が未納である諸先輩方は、総会受付でも納入して頂けますので、是非この機会に納金をお願いいたします。準備の都合上、電子メール(ryokujimu@nara.kindai.ac.jp)または電話(0742-43-7273(内線2030):直通)にて出席のご一報を頂ければ幸いです。

2016年度卒業生は、学部が627名、大学院博士後期6名、博士前期54名です。就職内定率は約98%です。奈良県庁等の行政職へは10名の充実(研究所の設立)を図りたいと考えています。そのためには、大卒生、人としての我々は、研究活動としての論文、特許、学会発表などを介して皆さんに成果を知らしめ、それらが世の中に役に立つ「実学研究」となることを目指します。君の名は、押しも押されぬ農学部! 受験生に選ばれる、在校生に好まれる、愛される、そして卒業生、修了生に喜ばれる農学部! 緑友会の皆様には、今まさに本学の中心学部のひとつとして、躍進を続ける農学部の現状をご理解いただき、さらなるご支援を切にお願いします。最後になりましたが、皆様の「ご多幸とご健康を祈りし、挨拶させていただきます。緑友会からご支援頂いております。

農学部長 重岡 成

近大農学部の現状 及び将来計画

事務局長 伊藤 博樹



農学部緑友会会員のみなさまには、日頃から大変お世話になっております。みなさまが卒業された近大農学部は正に驚異的な勢いで順調に発展しており、2017年度入学試験では、志願者総数が前年度比12.6%となり、益々注目が集まっております。大手予備校の評価におきましても、農学・水産系進学希望者が多くなっているのは近畿大学の存在があると言っていたと思います。

産官学連携としましては、外部から獲得した研究資金(受託・寄附研究、科研費等の補助金)は、2016年度で152件、総額3億9000万円にのぼり、ますます本学部への期待の大きさを感しております。

2016年度卒業生は、学部が627名、大学院博士後期6名、博士前期54名です。就職内定率は約98%です。奈良県庁等の行政職へは10名の充実(研究所の設立)を図りたいと考えています。そのためには、大卒生、人としての我々は、研究活動としての論文、特許、学会発表などを介して皆さんに成果を知らしめ、それらが世の中に役に立つ「実学研究」となることを目指します。君の名は、押しも押されぬ農学部! 受験生に選ばれる、在校生に好まれる、愛される、そして卒業生、修了生に喜ばれる農学部! 緑友会の皆様には、今まさに本学の中心学部のひとつとして、躍進を続ける農学部の現状をご理解いただき、さらなるご支援を切にお願いします。最後になりましたが、皆様の「ご多幸とご健康を祈りし、挨拶させていただきます。緑友会からご支援頂いております。

H28年度 校友会賞、緑友会賞一覧

専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	川戸 良将	イネとの接触混植による畑作物種の湛水ストレス緩和
	神川 汐里	マンゴーにおけるUFGT遺伝子の単離とその発現制御機構の解析
水産学専攻	和田 好平	養鰻施設を用いたマナズ養殖事業に関する経営的研究
応用生命化学専攻	山口 大志	Bacillus amyloliquefaciens CMW1由来の推定ペプチド遺伝子の異種発現と抗菌活性の検討
環境管理学専攻	小橋 興次	水田メソコスムにおける水生昆虫類の組成と構造に及ぼすイミダクロプリドおよびジノテフランの影響
バイオサイエンス専攻	大内 俊和	イネ白葉枯病認識受容体Xa1の相互作用因子Rap2.6を介した転写活性化機構の解析
	目崎 博久	キチン認識受容体の構成因子PUB12によるキチンシグナル伝達の制御機構の解析
博士前期課程		
専攻	氏名	テーマ
バイオサイエンス専攻	山田 健太	植物のキチン応答におけるMAPKカスケード活性化機構の解明
博士後期課程		
専攻	氏名	テーマ
バイオサイエンス専攻	山田 健太	植物のキチン応答におけるMAPKカスケード活性化機構の解明

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみならず、卒業生のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、**氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。**(お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです)

〇振込口座〇 三菱東京UFJ銀行 富雄出張所 普通 3574857 近畿大学農学部 緑友会

〇連絡先〇 近畿大学農学部 緑友会事務局 電話 0742-43-7273 (2030) E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp

寄付者芳名一覧 (2016年度ご寄付分) 村上 秀治 様 (昭和45年度 農学科) 高谷 政広 様 (昭和45年度 農芸化学科) 校友会 食品支部 李忠儒 様

ご協力ありがとうございます。今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。(注) 公開をご希望されない方については、掲載していません



当学科では、昆虫生態制御学研究室(現、昆虫学研究室)の矢野英二先生と植物人間関係学研究室の富研一先生が平成29年3月にご退職され、同年4月に米谷衣代先生が昆虫学研究室に講師として着任されました。一方、作物学研究室の山根浩二先生と農業経営経済学研究室の大石卓史先生がそれぞれ講師から准教授に昇格されました。全国大学実務教育協会による認定資格園芸療法士を20名の卒業生が昨年度取得し、さらに44名の現4年生にアグリビジネスマスタースターの称号が近畿大学農学部から授与されました。教員一同、資格認定を始めとする教育と、それぞれの研究活動に邁進する所存ですので、卒業生の皆様方のご支援を賜りますようお願い致します。

当学科では、平成29年4月1日から公衆栄養学研究室の郡俊之講師が准教授に昇格され、平成29年5月1日から生



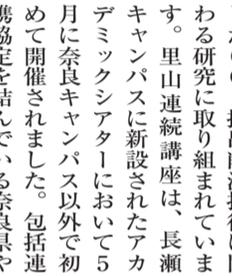
食品栄養学
学科長 上嶋 繁

当学科では、本年度末に森林生物化学研究室の田中裕美教授がご退職され、本年度から梅澤助教が着任されました。またインペリアルカレッジロンドン(英国)とワージングゲン大学(オランダ)で在外研究されていた財満信宏准教授と倉田淳志講師が帰国されました。柔軟で新鮮な発想と在外研究で習得された技術と知識の活用により、学科の教育と研究が一段と発展するものと期待されます。食品微生物工学研究室の白坂憲章教授を中心とする私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「きのこの子実体形成機構の解明とそのマツタケ等有用きのこの類の人工栽培増殖技術確立への応用を目指した研究基盤形成」も順調に推移しています。今後の発展にご期待ください。



環境管理学科
学科長 松野 裕

当学科では、平成29年4月1日から公衆栄養学研究室の郡俊之講師が准教授に昇格され、平成29年5月1日から生



食品栄養学
学科長 上嶋 繁

当学科では、環境化学研究室の坂上吉一教授が平成29年度末にご退職されました。坂上教授の後任として、城島透教授が4月に着任されました。城島教授は環境微生物学が専門で、特に微生物機能を活用したCO2排出削減技術に関する研究に取り組まれています。里山連続講座は、長瀬キャンパスに新設されたアカデミックシアターにおいて5月に奈良キャンパス以外で初めて開催されました。包括連携協定を結んでいる奈良県や八尾市との調査研究や地域活動も積極的に行っています。今まで培ってきた知見をもとに、教育・研究のさらなる発



城島透教授は環境微生物学が専門で、特に微生物機能を活用したCO2排出削減技術に関する研究に取り組まれています。

展を教員一同目指しています。緑友会の皆様のためまぬご支援を引き続き賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

当学科では、平成29年3月に深溝慶教授がご退職されました。4月には、篠原美紀教授が着任され、武田徹先生が准教授に昇格されました。また、内海龍太郎教授が、権威のある「日本農芸化学会賞」を受賞されました。これは、内海先生のバイオサイエンス学科での研究成果が非常に高く評価された結果であり、大変嬉しく思います。また、本年度も、本学科の優れた研究成果が新聞等で取り上げられたほか、大学院生が各学会において優秀発表賞等を数多く受賞し、本学科の研究力の高さを示しているものと思われまます。今後も、教員一丸となって研究・教育に邁進してまいりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



バイオサイエンス学科
学科長 川崎 努

展を教員一同目指しています。緑友会の皆様のためまぬご支援を引き続き賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

学科研究室・教員

農業生産科学科

- 育種学 (種坂 英次・築山 拓司)
- 園芸植物学 (神崎 真哉・小枝 壮太)
- 昆虫学 (香取 郁夫・米谷 衣代)
- 作物学 (飯嶋 盛雄・山根 浩二・廣岡 義博)
- 植物感染制御工学 (松田 克礼・野々村 照雄)
- 植物・人間関係学 (林 孝洋)
- 農業経営経済学 (増田 忠義・大石 卓史)

水産学科

- 漁業生産システム (光永 靖・鳥澤 眞介)
- 水産経済学 (多田 稔)
- 水産生物学 (小林 徹・小林 靖尚・渡邊 俊)
- 水産増殖学 (太田 博巳・澤田 好史・石橋 泰典)
- 水産利用学 (塚正 泰之・安藤 正史・福田 隆志)
- 水族環境学 (江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)
- 海棲哺乳類学 (酒井 麻衣)

応用生命化学科

- 応用細胞生物学 (森山 達哉・財満 信宏)
- 応用微生物学 (岸本 憲明・倉田 淳志)
- 食品微生物学 (白坂 憲章・福田 泰久)
- 森林生物化学 (板倉 修司・梅澤 究)
- 生命資源化学 (飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
- 生物制御化学 (松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)
- 学科共通 (吉岡 佐知子)

食品栄養学

- 栄養機能学 (米谷 俊・竹森 久美子)
- 栄養教育学 (川西 正子・明神 千穂)
- 給食経営管理学 (富田 圭子・安岡 美穂)
- 公衆栄養学 (伊藤 龍生・郡 俊之・蒲 尚子)
- 生体機能学 (上嶋 繁・安澤 俊紀・赤田 菜佑子)
- 食品化学 (渡辺 克美・上田 茂登子)
- 臨床栄養学 (木戸 慎介・上西 梢)

環境管理学科

- 環境化学 (城嶋 透・森 美穂)
- 環境政策学 (池上 甲一・鶴田 格・前湯 光弘)
- 里山生態学 (澤島 拓夫・河内 香織)
- 国際開発・環境学 (八丁 信正・松野 裕)
- 水圏生態学 (細谷 和海・ジン タナゴナン)
- 生態工学 (奥村 博司・阿部 進)
- 保全生態学 (北川 忠生・早坂 大亮)

バイオサイエンス学科

- 植物分子遺伝学 (川崎 努・山口 公志)
- 植物分子生理学 (重岡 成・田茂井 政宏)
- 生命情報工学 (武田 徹)
- 天然物有機化学 (北山 隆)
- 動物発生工学 (加藤 容子・谷 哲弥)
- 動物分子遺伝学 (佐渡 敬・岡村 大治)
- バイオ分子化学 (大沼 貴之)
- 分子生物学 (内海 龍太郎・篠原 美紀・加藤 明宣)

教養・教育基礎部門

木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・ロバート・ジョン・シェリダン

太字：新研究室、新任

— 農学部祭の案内 —



今年も毎年恒例となりました「農学部祭・飛鳥祭」の季節がやってきました。今年の農学部祭は11月1日(水)から11月3日(金・祝)までの3日間開催する予定です。現在、農学部祭実行委員会や各参加団体が日々農学部祭にむけ準備・活動しています。農学部祭実行委員会では今年も農学部祭の象徴であるパスローター側入口に設置する凱旋門や渡り廊下に設置する巨大壁画の製作やステージ企画の考案に取り組み、手作り感溢れる農学部祭にすべく日々努力しています。農学部祭の構成としては、初日は在校生のみ参加する体育祭が行われ、2日目・3日目は一般の方も楽しめる文化祭が行われるという形になっています。今回の農学部祭のテーマは「菜農開花」であり、2日間行われる文化祭の中では、毎年近大マグロの解体ショーが行われ、昨年も今話題の近大マグロが無料で試食できるとあって、多くの方々にお越しいただきました。その他にも、ご家族で楽しめるヒーローショーやお笑い芸人のライブ、各研究会系クラブ団体の展示会や部活や研究室で出店する模擬店など、各種イベントが目白押しであり、農学部生が「開花」する姿を是非ご覧ください。卒業生の皆様方や地元住民の方々、在校生全員が楽しめる農学部祭を農学部祭実行委員会を中心となり、農学部生一丸となって作り上げていこうと思います。当日の皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。

近畿大学農学部実行委員会

新任の挨拶

農業生産科学科 昆虫学研究室
講師 米谷 衣代

平成29年4月1日付で農業生産科学科昆虫学研究室に講師として着任いたしました米谷衣代と申します。私は大阪教育大学を卒業後、京都大学理学研究科にて学位を取得しました。その後はドイツ学術交流会、日本学術振興会などの博士研究員を経て現職に至りました。

これまでの研究では、植物の揮発性物質が多様な情報を伝達可能で他の生物との相互関係や生物多様性に影響を与えていることを明らかにしてきました。今後はこれまでの基礎研究を進展させ、農生態系と自然生態系を行き来する害虫と天敵の群集形成機構の研究を行い、生物多様性の保全と活用や減農薬につながる害虫管理技術の発展に貢献したいと考えております。また講義、実習、卒業研究を通じて理解すること、考えること、人とつながることの大切さを伝え、社会に貢献できる人材の育成にも励んでいきたいと思っております。緑友会会員皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

水産学 水産利用学研究室
准教授 福田 隆志

平成29年4月1日付で水産学水産利用学研究室に着任いたしました福田隆志です。私は奈良市生まれで、高校を卒業するまで新大宮に住んでおりました。実に25年ぶりの帰郷になります。まさか生まれ故郷に戻ってくるとは想像もしておらず、今はすっかり忘れた関西弁のリハビリをしております。

私の専門は「天然物化学」で、キノコに始まり陸生の微生物さらには海洋の微生物を材料とした研究を展開しております。これまでの研究過程で、海洋微生物の特に創薬資源としての可能性を強く感じ、新薬発見に向けて、日々研究に精進しております。未だ手付かずと言われる創薬としての海洋資源の研究に携われることを、心から嬉しく思っております。

食品栄養学 生体機能学研究室
契約助手 赤田 菜祐子

本年5月より、食品栄養学部の生体機能学研究室に契約助手として着任いたしました、赤田菜祐子と申します。近畿大学農学部食品栄養学を卒業後、社会人経験を経て、再び近畿大学でお世話になることになりました。

学生生活を思い出すと同時に、立場が変わった今、教員としての役割をどう果たしていくかを考えながら毎日過ごしております。先生方に教えていただきながら、学生生活のサポートや学生への指導、研究等に一生懸命取り組んでいく所存でございます。至らない点は多々ございますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

環境管理学科 環境化学研究室
教授 城嶋 透

本年4月に環境管理学科・環境化学研究室に着任しました城嶋透と申します。私は、低炭素社会の実現に向けて、微生物を利用してリグノセルロース系バイオマスからバイオ燃料やバイオ化学品を生産するバイオリアクターに関する研究開発を行っております。地球温暖化問題は、全世界が直面する喫緊の課題であり、バイオリアクターに

今後、学生たちとともに研究に邁進し、近畿大学の教育理念である「実学教育」により、社会で活躍できる人材を育成していけるよう努力してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新

旧

きるよう努力を続けていく所存です。緑友会会員皆さまのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

バイオサイエンス学科 分子生物学研究室
教授 篠原 美紀

平成29年4月1日付でバイオサイエンス学科分子生物学研究室に教授として着任いたしました。篠原美紀です。大阪大学理学部生物学科を卒業し、同大学院医学研究科で学位を取得後、シカゴ大学放射線腫瘍学部、広島大学原爆放射線医学研究所、大阪大学蛋白質研究所を経てこちらに参りました。これまで大学といたっても、研究所で研究を主



退職後は、前期に週1回非常勤で農学部で講義を担当しております。また、現在は、引き続き日本防衛防衛学会での活動を続けるとともに、NPO奈良県HACCP研究会の理事長、市民生活共同組合ならコープの非常勤理事、専門学校の非常勤講師等の立場で、第二の人生を一定のペースで歩んでおります。では、以上ですが、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

前農産学 教授 田中 裕美

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昭和50年4月から42年間近畿大学農学部で勤務させていただきました。その間、学

退職のご挨拶
前農産学 教授 矢野 栄二

近畿大学には平成十八年四月に教授として着任しました。それ以前は、農林水産省の研究機関に研究員としてずっと勤務しており、初めての経験である学生の教育が務まるか不安でしたが、無事十一年間の勤務を全うすることができました。色々ご助言をいただいた農学部の教員の先生方、

共に研究した学生の皆さんのおかげと感謝しております。研究面では、以前からの研究テーマである施設園芸害虫に対する天敵利用について、プロジェクト予算も取れ、それなりの成果も得られたと自負しております。まだ論文として公表していない成果が多いので、これから論文執筆に励む予定です。国際学会や国際研究会には年一、二回参加しましたが、情報交換の場として、旧知の研究者と旧交を温める場として大いに役立ちました。また海外の美しい景色は心のいやしとなりました。今後はまだしばらく害虫の生物的分野に関わりをもつこととなります。

退職のご挨拶
前環境管理学科 教授 坂上 吉一

2017年3月31日をもって、近畿大学を退職いたしました。2005年3月31日、54歳で大阪府を早期退職し、4月1日付で近畿大学農学部環境管理学科に赴任し、12年間が経過いたしました。（結果的に定年が6年間延びました）。思い返せば、あつと12年間の12年間でした。2005年は農学部の学科再編がスタートした時期であり、私が赴任できたのも学科再編で環境管理学科が新しく誕生したことによりです。この間、数多くの学生とともに歩んできましたが、現在、社会人として各自頑張っていることは、この上ない幸せです。



退職のご挨拶
前バイオサイエンス学科 教授 深溝 慶

私は、2017年3月31日をもって、32年間勤務いたしました近畿大学農学部を退職させていただきます。この間、所属していた旧食品栄養学およびバイオサイエンス学科の諸先生方、院生諸君、学生の皆さん方には本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。現在、タイ王国のスラナーク工科大学で客員教授として教育および研究に携わっております。この2ヶ月間、生化学機器分析に関する講義を担当し、院生たちのアカデミズムに対する真摯な姿勢に感銘を受けました。それでも、トムヤムクンのスープに汗をかきつつシンハビアを飲みながら、明るく親切なタイの院生たちとたわいもない話で盛り上がるたびに、日本の大学と共通する教員と院生の一体感という組織力を感じます。これからさらに新たな経験を積みながら、この恵まれたタイでの研究生活を楽しんでいきたいと思っております。近畿大学農学部緑友会の皆さん、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

新入生の夢

私の夢

農学生産科学科

小橋 耕平

大学入学前、大学というのは専門的な学問を学び、将来就きたい職業に向けて努力し、そして自分の可能性を広げられる場所だと思っています。大学に入学して数ヶ月がたちましたが、自分の考える大学像は変わっていません。僕には将来就きたい職業がいくつかあるのですが、農学部では、講義や説明会など、1年生から就職について考える機会が多くあります。これらの機会を通じて、就職についてじっくりと考えていきたいと思っています。

また、大学では、サークル活動にも積極的に参加していきたいと考えています。農学部のサークルは多種多様で非常に迷いましたが、農芸化学研究会に入りました。サークルに入ったことで、他学科の友達ができたり、尊敬する先輩が数多くできたりと、本当に毎日が充実しています。大学の4年間を通じて、小さなことから大きなことまで多くの目標をたて、失敗しても諦めずに成功するまでチャレンジする、そのような大人になってみせます。

将来の夢

水産学科

成木 壮光

私は海の近くで、潮の匂いを感じながら育ち、高校では農業について学んできました。そこで人間活動による排水によって身近な海が汚染されている現状を知りました。私は

美しい風景を写真撮影することを趣味としているので、海の環境を改善して、将来にわたって常に綺麗な海の写真を撮りたいと強く思うようになりました。そのため海洋と環境を学ぶことができる近畿大学農学部水産学科を志望しました。

講義はまだ始まったばかりですが、農学部には水産学科の他に、環境の保全や改善のために今後、専門にとらわれず、様々な授業や実習を積極的に受講して、海洋環境について学びたいと思っています。そして将来は、学んだ知識や体験を活かして、海洋環境の保全や改善に従事する仕事に就きたいと考えています。その際には趣味の写真撮影を活かして、美しい海の風景を人に伝えたいと考えています。

私の夢

応用生命化学科

久野 竣矢

私の将来の夢はまだ明確には決まっていますが、食品関係で何か役に立つこと、喜ばせることができる仕事に就きたいと考えてこの大学に入りました。明確な動機があったわけではありませんが、親が共働きであったため小学校の頃から店でご飯を買ってきて食べることや高校の友人とご飯を食べに行くことが多かったこと、会う機会の少なかった祖父と食事会という形で会えたことなどの理由があり食事について思い入れが強かったのだと思います。そんな夢も大学で授業を受けたら、研究室について調べるに

つれて明確になってきました。この夢を実現する第一歩として希望する研究室に入るために勉強を頑張ろうと思っています。また自分の武器になる資格の取得や部活、大学でしかできない挑戦など勉強以外にも力を入れ、多くの人に支えてもらっていることを忘れずに大学生生活を有意義に過ごせるように頑張りたいです。

将来の夢

食品栄養学科

井上 栞

私には今、二つの夢があります。一つは食育を通して子供達と関わる仕事をする事です。最近、共働きの家庭が増え、正しい食生活を送ることができている子供達が少ないと思います。また、今の子供達が正しい食生活を学ぶことができないならば、次の世代にも正しい食生活が受け継がれません。私は、少しでも多くの子供達に「食」の大切さを知ってもらい、次の世代に受け継がれるような食育をしたいです。



もう一つは、企業に就職し商品企画をすることです。私は、たくさんの企業やコンビニが出す新商品を、発売日の毎週火曜日にチェックしています。新商品を見ると、その企業やコンビニのターゲットや考え方がわかって、とても面白いです。どうやって消費者のニーズに応え、かつ利益を得るのかを考えながら商品企画することは、私にとっては大きな魅力です。高校の時から私より新商品について詳しく知っている人に会うことがありません。

私の一番興味のあることを生かして、大学で多くのことを学び、夢を実現したいです。

これからの抱負

環境管理学科

寺口 昌宏

私は昔から多くの自然に囲まれて育ちました。だから小さい頃から自然には自ずと興味があり、不思議な存在とも感じていました。ところがある時、それまで親しんでいた山が道路に変わりました。これまでいた生き物はどうなっ

たんだろう、本当に山を潰して良かったのかと疑問に思いました。その事がきっかけで環境について学びたいと考え、環境管理学科に入学しようと決めました。そこには勉学に励みやすい環境があり、知識

私の夢

バイオサイエンス学科

松井 美濤

「あなたの夢って何？」と聞かれたら、「テニスの試合で勝つたい」、「ギターでジブリの曲を弾けるようになりたい」、「いっぱい海外旅行にきたい」など、私には多くの夢がある。しかし私の一番大きな将来の夢は、生殖補助医療培養士になることである。近年、日本では少子高齢化、高齢出産、不妊が懸念されて



を深めることができると思いたからです。まだ大学生生活は始まったばかりですが、講義はとも充実した内容で面白く、満足しています。特に、環境管理

学概論という講義では、いろいろな先生が様々な視点から環境について語られることが



おり、子供を授かりたくても授けられない人が大変増えているとニュースなどでよく聞くようになった。その中で、私は生殖補助医療培養士という技術職があることを知り、将来はこの胚培養士になって、子供を授かる手助けをすることで、社会に貢献したいと考えてるようになった。ただしこの夢を実現するための道は険しいと思う。発生学や多くの専門的な知識、そして生殖細胞、胚を扱う技術を習得する必要がある。遺伝子操作の技

術を実験や研究を重ねて習得し不妊に悩む人たちにによりよい不妊治療を提供し、「子供を授かりたい」という願いを叶えたい。また、生殖生物学の高い技術のみならず、患者の不安、恐怖を親身となって寄り添い、会話によって少しずつ取り除いていけるようなコミュニケーション能力を身に付けなければならない。学生生活では多角的な視野を持ち学び続ける多くのことを吸収したい。

近大アーマリン

アーマリン近大は安心・安全・美味しい魚を提供します

近大の魚と配剤の恵み

近畿大学 水産研究所

大阪店
大阪府北区大深町 3-1
グランフロント大阪北館 6 階
TEL: 06-6485-7103
ランチ 11:00~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)

銀座店
東京都中央区銀座 6 丁目 2 番先
東京高速道路山下ビル 2 階
TEL: 03-6228-5863
ランチ 11:30~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)
日・祝は L.O. 21:00

魚、うごく。

fish dance

OPEN

Let's get together. Small discoveries in the big ocean.

城崎マリンワールド

あなたの企業のお手伝い

photo shop **イナダカメラ**

21世紀へ
ニューメディア
プリント

八尾市服部川7丁目153
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携帯 09037290909
E-mail t-inada@natural.zaq.jp
代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

卒業生 & だより 職場紹介

社会人となって実感したこと
農学研究科農産学専攻(平成26年度卒)
西村 祥吾

私は平成29年3月に農学研究科農産学専攻博士前期課程の植物感染制御工学研究室を修了し、日東エフシー株式会社という肥料会社に勤めております。4月は社会人マナーや会社のことや肥料の作り方を本社の名古屋にて勉強しておりました。私は営業として採用されたので、現在千葉県で顧客との話し方や、価格の交渉の仕方などを学び、同期の同僚とともに切磋琢磨しています。肥料業界というのは学生時代の私の専攻分野の植物病理とは別のものですが、農業に関わる仕事がいとこ考えていたので私にとってこの上ない職場であると考え入社いたしました。また、つい先日栃木県に出張に行っていました。そこで農家の方と話す機会があり、私の学生時代の専攻の話がその話の話題作りに役に立ちました。営業先に行くとき商品だけの話でなく、世間話や作物の調子の話をしたりするので、肥料のことだけでなく



食品会社の商品開発
農学研究科水産学専攻(平成26年度卒)
笛田 えりか

私は2016年4月から愛知県岡崎市の食品会社のマルサンアイ株式会社に勤めています。マルサンアイは味噌と豆乳の製造・販売を行っています。在学中はアナゴの養殖についての研究をしていましたが、食品に携わる仕事がい

たいと思ひ養殖学とは共通点の少ない食品会社に入社しました。味噌の製造から始めた会社なので周りには微生物学や醸造学などを学んだ方が多く、菌などの知識がない私は少し焦りを感じていました。しかし製造現場で作業をした先輩方に教えてもらったりし、少しずつ知識が身につけていきました。

現在は商品開発の仕事をしていて、新商品の開発は、コンセプトに合った味を作ることから始まり、コストに見合った原料を探し、実際に工業ベースで生産できるかを確認していきま



化学メーカーに勤めて
応用生命化学科(平成26年度卒)
姫川 征也

化学メーカーの工場での品質管理に関わる仕事をしています。現在は製品出荷前の分析を担当しており、品質チェックの最後の砦です。製品の種類が多岐に渡るため、分析方法も多岐にわたります。細かく定められた試験を確実に技術と知識の習得が、現在・今後の課題です。クレームや異常がなく、いつも通り工場が動いていることがしつかり品質管理がなされている証であるので、そのことに日々喜びを感じています。私の学生生活で印象に残っているのは、研究室で参加の機会をいただいた国際学会です。社会人となった今思い返すと、学生である間にしかないチャンスを得たよかったです。在学生の皆さんには、今しかできないことを見極め、大いに楽しんで欲しいと思います。お金と時間があれば誰にでもできることではなく、意欲があるあなたにしかできないことに力を注げば、悔いのない学生生活になると思います。

栄養の専門職として
食品栄養学科(平成24年度卒)
平田 幸一郎

私は近大奈良病院で管理栄養士として勤務しています。私が常にこうありたいと思う管理栄養士像は患者さんへ「診れる」管理栄養士です。食欲がない患者さんの栄養管理をする際、安易に栄養補助食品を提供するだけで患者さんにはよくありません。何故食べれないのか？原因の原因まで徹底的に考えます。食事形態が悪いのか？脱水で唾液や消化液が出ないからなのか？薬の副作用なのか？その原因が脱水ならば皮膚や口腔内



農業関連会社の立ち上げ
環境管理学科(平成28年度卒)
島田 優

私は、今年の春、環境政策学研究室を卒業し、同時に奈良市内で有機農業を主軸とした農業の会社(株)ゲミューゼを立ち上げました。栽培作物はニンジン、ヨーロッパ野

の乾燥などの理学所見を基に医師へ輸液の開始や増量を提案し、薬が怪しいと考えたならば薬剤師に確認します。管理栄養士に薬剤や輸液の処方権限はありませんが、患者さんを診て、チーム医療の中心であり続けたいと思います。管理栄養士は院内で唯一の栄養の専門職です。ベッドサイドにいますからこそ気づくことがたくさんあります。厨房だけが職場ではありません。まだ夢の途中ですが、少しでも理想に近づけるよう病棟へ行くことを私はやめません。

業などを中心に、今後はトマトのハウス栽培にも力を入れる予定です。

大学では里山をはじめとした自然環境、農村社会学を学ぶことができました。小学生の頃から野菜作りを行い、農業高校へ進学し、大学へは視点を広げようとして「環境」を学ぶ学科に進みました。おかげで自然環境や農村環境について深く学びが得られたと同時に、それが今後の自身の活動に活かせると感じています。親が農家ではない者が農業を行うためには様々な大きな壁がありますが、現在は農産物の生産販売、障がい者福祉施設と連携した農福連携農園の整備、農業を通じた食農教育を実施しています。まだまだ未熟な私ですが、たくさんのご支援を頂くことに感謝をし、新しく深い、良いものを創っていくように頑張ります。

日本茶を世界に広げるために
バイオサイエンス学科(平成26年度卒)
西中 多聞

私は大学時代、「病原細菌に対する新規薬剤の開発」というテーマで研究をしていました。卒業研究を通じて、専門知識の重要性や効率的に業務を遂行するための計画の立て方を勉強し、現在もその経験が活かされています。

私は伊藤園に就職し、現在はリーフ製品の品質管理を担当しています。リーフ製品とは急須で入れる煎茶・ほうじ茶、ティーバッグ製品やインスタント製品などを指します。私の業務内容は、全ての製品の香味などを確認し、製品の品質を評価することです。ま

近畿大学校友会 食品支部 会員募集中!

支部概要
設立 平成26年6月7日
支部長 李忠儒
年会費 5,000円
連絡先 支部長 李忠儒
株式会社 日本東泉
大阪市住之江区中加賀屋2-10-15
TEL 06-6682-2627
【事務局】事務局長 岡野邦男
立花容器株式会社
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1
TEL 0866-82-3300

食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友会によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

総会や例会、研修旅行を通じて信頼関係を高めつつ、多様なビジネスチャンスへ繋がっていきましょう！校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



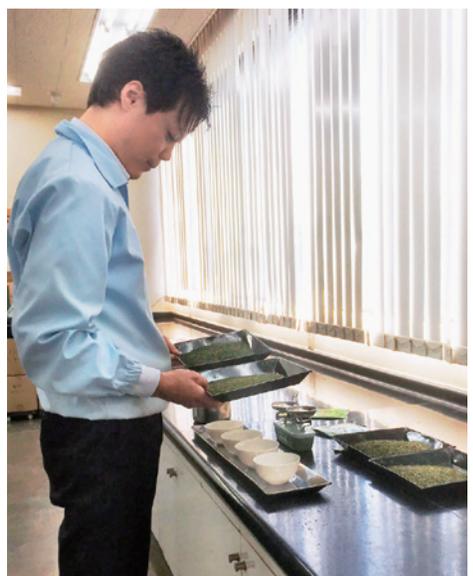
2017年5月28日 第五回総会
69名のご出席を頂きました。

近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内

近畿大学校友会 食品支部

た、各製造工場にその評価基準を導入するだけでなく、品質の評価方法の指導も行います。日本での日本茶の品質・生産技術は海外と比べても負けていませんが、品質保証という面では世界基準の認証が

取れていない工場が多いのが現状です。私は海外の市場に「日本ブランド・伊藤園」のリーフ製品を販売していくために、私は各工場と連携し、世界に通用する国際認証の取得を進めています。



在学生だより

大学生活を通して学んだこと

農業生産科学科
植物感染制御工学研究室4回生
北村 翔馬

卒業まで残り数ヶ月となった今、学生生活をふり返ると様々な経験を通して、人間として成長できたと感じています。クラブ活動では、園芸の魅力や楽しさを多くの人に伝えることの難しさを学びました。一方で、展示会や即売会などの行事を成し遂げたことは貴重な経験となりました。研究室では、3年間で身につけた知識や経験を生かし、学生生活の集大成となる卒業論文に向けて日々実験に取り組んでいます。所属している研究室では「世の中のために研究」をモットーに掲げており、その中で私は農業の現場で問題になっているイチゴうどんこ病菌の形態観察を行うことで、新たな防除手段の開発に取り組みんでいます。実験を通して、私は思考力だけでなく、計画性や応用力が重要であると痛感しています。このことは、社会に出で働く上でも共通して必要となる力です。私は、卒業までの残り数ヶ月で、より能力を高め、社会に出ても胸を張れるように大きく成長していきたいです。

私の研究生生活

応用生命化学科
生物制御化学研究室4回生
嶋田 翔太

私は卒業研究で昆虫の神経伝達物質受容体の機能について研究しています。昨今の農業生産において殺虫剤のような農薬の存在が必要不可欠であるという背景があり、新たな農薬の開発の一環として、この様な受容体の研究に興味を持ちました。それは、昆虫の受容体タンパク質を発現させたカエルの卵に殺虫剤として用いられている農薬を作用させることで起こる電気的な変化を調べるといったものです。その為には、様々な分野の知識とテクニックを必要とし、私が研究室に所属してから、自分が何をしているのか全く分からないと言ったことがしばしば続いています。それでも実験の手順を何回もこなしてゼミの演習で他の人の論文発表を聞いていたと次第に、自身の研究テーマの概要が見え始め、最初はきこひなかつた実験操作も比較的に円滑に進められるようになったのです。「今まで出来なかったことが、少しでも出来るようになった」という感覚が、結果として研究に対して意欲を持つきっかけになりました。大学生活も終盤に差し掛かりましたが、残された時間を一分一秒と大切に、更なる知識と技術を習得し、この四年間の集大成とすることに努めたいと思います。

好奇心旺盛な私の学生生活

水産学科
漁業生産システム研究室4回生
高本 采実

私は1回生の冬から、つくみさんプロデュース「KINDAIGIRLS」のメンバーとして、3年間入学式でパフォーマンスをしてきました(写真、前列左から3人



私は、卒業生でもあるつくみさんがプロデュースする入学式で、新入生を歌とダンスのパフォーマンスで歓迎する、KINDAIGIRLSというユニットに所属しています。毎年春休みの2ヶ

青春×青春

食品栄養学科
生体機能学研究室4回生
山田 実乃梨

私は、卒業生でもあるつくみさんがプロデュースする入学式で、新入生を歌とダンスのパフォーマンスで歓迎する、KINDAIGIRLSというユニットに所属しています。毎年春休みの2ヶ

充実した学生生活

環境管理学科
環境化学研究室4回生
山本 奈美

生き物について専門的に学びたい。幼い頃から様々な生き物が好きだった私が大学を



決める際に一番重要視したことでした。近畿大学はまさに私の求めていた大学だったのです。近畿大学奈良キャンパスは自然に囲まれており、環境管理学科では私の好きな生き物について深く学ぶことが出来ます。山・川・海の環境や生物について幅広く学び、三年生で分属される研究室でそれぞれの分野に分かれて専門性を高め、学びながら研究していきます。

大学時代の自由

バイオサイエンス学科
バイオ分子化学研究室4回生
辻井 淳

私は環境化学研究室に所属し、環境を科学的視点でとらえながら、微生物を利用した環境汚染物質の分解メカニズムの解明について研究しています。学業以外では、学内資格である里山インストラクターの資格を取得し、里山修復プロジェクトに参加して、キャンパス内にある里山の維持管理や有効活用を目指して

学生である期間中には、自分のやりたいことに取り組みたいという思いがありました。私は以前から海外の大学ではどんな勉強をしているのか興味があったので、一度は留学をしてみたいと思っていました。そんな時に近畿大学の留学プログラムを知り、この機会を逃すと後悔すると思い、参加することにしました。私が留学したチェンマイ大学は、タイ北部の比較的にのびりした田舎にありました。授業は全



活動しています。そして近畿大学は学内だけでなく、海外研修の制度も充実しています。英語の語学研修としてオーストラリアへ一か月間ホームステイをしながら大学へ通い、また授業の一環としてフリーピンへ現地の環境調査にも行きました。自分だけではなかなかできない貴重な経験をさせていただき、より質の良い大学生活をおくることができています。

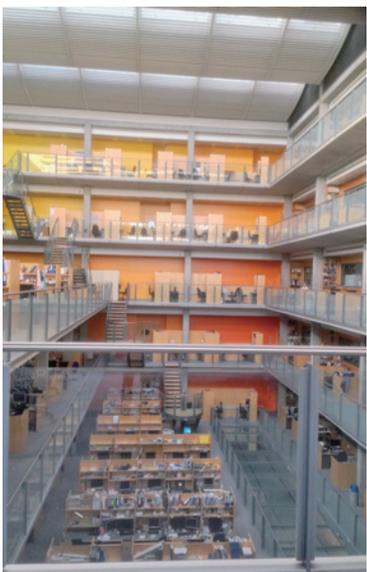
近畿大学で得た様々な経験をこれからの人生に活かしていきます。今後の進路としては、未だ解明されていないものを追求するという研究に魅力を感じたため大学院進学を希望しています。

私の語学力はタイに着いた時はひどいものでしたが、授業や現地の大学生との交流を重ねることによって、普段の会話にはなんとか困らないレベルにまでアップすることができました。今回、留学を決意しなければこんな素晴らしい体験は出来なかったと思います。お世話になった留学先の方々に感謝の意を表するとともに、在学には留学を体験しようとお勧めします。



ロンドンでの在外研究を終えて
准教授 財満 信宏
応用生命化学科

平成28年9月から平成29年2月までの半年間、在外研究としてインペリアルカレッジロンドンで研究をさせていただきました。滞在先の研究室は大学とは思えないような建物の中にあり、区切りの無い



この度の在外研究によって得るものが非常に多くありました。ご多忙にも関わらず私が不在中の仕事をすべて引き受けてくださった研究室の森山達哉先生をはじめとして、関係者の皆様深く感謝申し上げます。

いのちをつなぐ企業
株式会社アクアテイメント

aquataiment
06-6955-9681
info@aquataiment.jp
代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業

大学院生だより

大学院生とって
 農産学専攻博士前期課程
 植物感染制御工学研究室
 中尾 勇城

今まで勉強というものはとても嫌いでした。しかし、本学での勉強で、本当に自分が興味を持てることを学べた結果、知識を深めることへの楽しさに気づくことができました。そして、今年からはより多くの知識を深めるため大学院への進学を決めました。

私の研究テーマは「トマト葉上トリコロームにおけるうどんこ病菌の感染挙動の解析」です。とにかく、実験で行う処理は細かい作業が多く、実験の失敗も多々あります。しかしながら、結果がでるたびに達成感もありとても楽しいです。昨年の実験は、先生や先輩方の指示で行っていました。今年からは、自分の研究という意識を持って、自分自身でしっかりと考え、主体的に実験を行っています。また、研究室の後輩たちに実験の指導も行っています。教えることの難しさを学べる良い経験となっています。これからも大学院生活を有意義なものにするため、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

大学院生とって、台風の影響については、台風の凄まじい力によって海がダメージを受けて弱ってしまうのか、あるいは逆に活性化するか。海況と密接な関係を持つマクロの養殖などを継続していくためにも、海に現れる変化を解明することが重要だと考えています。

大学院では研究だけでなく、研究室の運営や学生のサポートなど様々な物事を柔軟にこなしていく必要があります。多くのことを経験し、学んでいくことで自分自身を成長させ、そこから得られたものを研究にももちろん、後輩や先輩の大学院生、先生方のために生かしていくことができれば幸いです。自分だけでなく周囲の人々のためにもより一層成長していきたいと思っています。

ヤマトシロアリは日本のシロアリ被害の9割以上を占める厄介な経済害虫です。ヤマトシロアリは普通森の中で枯れ木や倒木などを食べて生活しており、分解者として生態系の維持に重要な役割を担っています。ところが、ひとたび人間の生活環境に現れるとシロアリは普段通り生活しているだけなのですが、家屋を中心として木造建築物に深刻な被害を及ぼします。

私はこのヤマトシロアリを研究しています。具体的には、ヤマトシロアリ体内に存在するタンパク質のmRNAと相補的な配列を持つ二本鎖RNAを遺伝子組み換え大腸菌で産生させます。そしてこの大腸菌をヤマトシロアリに摂食させて、RNAを引き起こす方法を模索しています。

私は大学3年生から2年間卒業研究に取り組みました。しかし、せっかく大学まで来たのに卒業研究だけで終わらせてしまうのはもったいない、と思い大学院に進学することを選びました。

私が現在取り組もうとしている研究は、台風が海に与える影響についてです。台風の凄まじい力によって海がダメージを受けて弱ってしまうのか、あるいは逆に活性化するか。海況と密接な関係を持つマクロの養殖などを継続していくためにも、海に現れる変化を解明することが重要だと考えています。



ヤマトシロアリ
 応用生命科学専攻 博士前期課程
 森林生物化学研究室
 浅井 源二郎

実験はまだまだ失敗の連続ですが、研究におけるやりがいというものを実感しながら日々、試行錯誤を繰り返して

います。今後も周囲の方々のご助力に感謝しつつ、精進していきたいと考えています。

中心にあるのは、資源と人との関わりです。言わば人の営みが研究対象となります。

私のテーマは農業水利で、調査対象が農家の方々になるため、研究は農家と地道に関係性を築き、調査の協力を得ることから始まります。大学名を出せば協力してもらえないというものではないため、このような過程においては、常に自分の人間性が試されているように感じます。農業水利がテーマとは言え、先方が求めている情報(例えば、農協改革)に対して無知の場合、叱られることもあります。それでも農家の方々のおかげで良い情報が得られると例えようのない喜びが湧いてきます。こうして得た成果は、ゼミで発表します。社会調査において、百戦錬磨の先生方からコメントをいただき、次の研究課程へ繋げていきます。

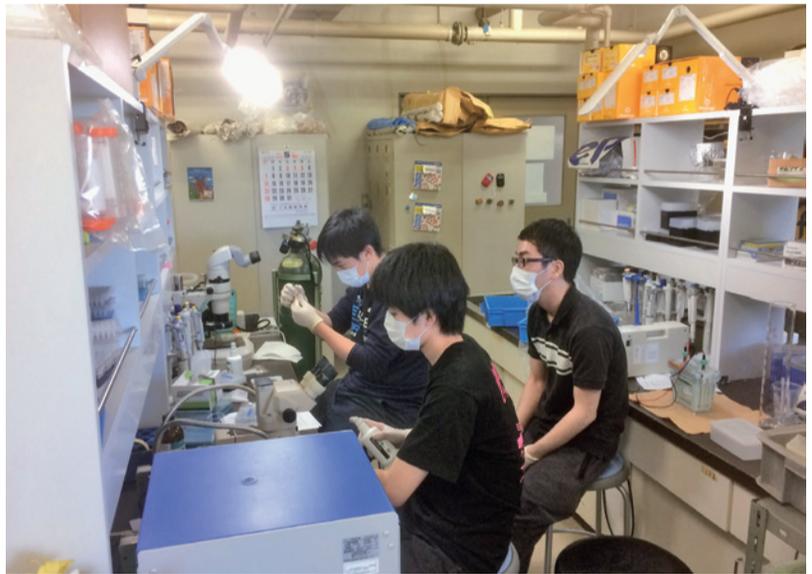
研究生活は、まさに人間性を高めるための日々です。

大学院に進学して、農学専攻博士前期課程 動物発生工学研究室 山下 輝

私は、大学入学時から胚胎養士という仕事に興味があったので、大学院に進学して、動物発生工学研究室で養士として働きたいと思っています。

大学院に進学して、環境政策学専攻博士後期課程 環境政策学研究室 塩野 眞美

環境政策学専攻博士後期課程 環境政策学研究室は、現在博士前期課程1名、後期課程3名の院生が在籍し、各々が環境教育、有機農業、農業水利、農業と福祉といったテーマに取り組みんでいます。多岐にわたるテーマですが、その



大学院生としての自覚と責任
 応用生命科学専攻博士前期課程
 公衆栄養学研究室
 豊田 啓士

食品について学びたいという気持ちから食品栄養学科に入学した頃は、卒業後に大学院に進学しているとは思っていませんでした。私が現在の研究に出会ったのは研究室に配属された3年生の時でした。潰瘍性大腸炎という特定疾患にも指定されている病気に関する研究で、4年生から本格的に研究に取り組みようになりました。しかし、良い結果が出た時は本当に嬉しく、研究の難しさや楽しさなどを感じました。その中でもっと研究がしたいと思いが強くなり、進学することを決めました。大学院生になり、さらに研究を進めていくにつれ、自分で考え

る力がより必要になると思いました。一つの結果を読み取るにしても様々な視点から考えることも必要となり、自分の力不足を感じました。また研究室でも後輩ができ、院生という立場から自覚や責任も必要となり、今まで以上に様々なことを考える機会が増え、とてもいい経験となっています。これからも頑張っていきたいです。

あるようでなかった
 新感覚の理系雑貨のお店

SCIENTIFIC IDEA

URL: <http://scientific-idea.com>
 代表者 東田一希 (農芸化学科 平成6年度卒業)



日本食食べよう会の参加者 (寿司や磯辺焼き、抹茶、ほうじ茶、緑茶など)



オランダでの在外研究
 応用生命科学科
 講師 倉田 淳志

平成28年10月から半年間、オランダのワゲニンゲン大学微生物研究所で在外研究を行ってきました。ドイツとの国境に近い平坦な田舎にある大学で、食や健康、経済、畜産、栽培、農機具開発などに

関する研究所が多いため、このあたり一帯は「フードバレー」と呼ばれています。オランダではチーズ以外にもベルギービール、旧世界ワイン、ソーセージ、ヨーグルトなどの発酵食品をスーパーで多量に見かけます。微生物学研究所は欧州の腸内細菌叢の解析プロジェクトに参画しており、血液型の様な3つのタイプに腸内細菌叢は分類できることを示すなど、腸内細菌の研究で中心的な役割を果たしています。現在は20カ国以上の国々から集まった研究者が研究所に所属しており、長い腸管の各部位の細菌叢の多様性や働きの研究に挑んでいます。このような多様性に富んだ環境で研究に取り組める機会を与えていただきました。関係者の皆様にご心より御礼申し上げます。

教員・学生の学会受賞者

(敬称略)

2016年4月～2017年3月

Table with 6 columns: 受賞日順, 受賞者, 所属(受賞時), 受賞学会, 受賞内容, タイトル. Lists 13 award recipients with their names, departments, and the organizations they were awarded by.



第7回KINKAN会 イベントを終えて
9期生 上西 梢
平成28年11月3日(木)に食品栄養学科卒業生で構成される「KINKAN会」のイベントを開催いたしました。

9期生 上西 梢

緑友会会報原稿募集のお願い

緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。できるだけたくさんの方からの寄稿をお待ちしています。



連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局
〒631-8505 奈良市中町3327-204
電話 0742-43-7273 (内線2030)
メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

訃報

農学部事務部守衛室 山本源太郎様がご逝去されました。(平成二十八年三月)
食品栄養学科 平山 修先生がご逝去されました。(平成二十八年八月)
国際資源管理学科 越島 哲夫先生がご逝去されました。(平成二十八年十月)
農学科 鈴木 登先生がご逝去されました。(平成二十八年十一月)
水産学科 浅野 博利先生がご逝去されました。(平成二十九年一月)
ご冥福をお祈りします。

院や福祉施設、食品企業などで活躍する卒業生が、実際に使用している献立や栄養指導媒体等を持ち寄り、グループに分かれてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。
定ですので、皆様奮ってご参加ください。詳細に関しましては各期の運営委員より随時ご連絡致します。



緑友会名簿訂正(変更)届

Form for membership correction with fields for 氏名, 所属研究室, 現住所, 勤務先, 卒業学科, 年度.

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

平成28年度近畿大学農学部緑友会事業報告

Table with 4 columns: 月日, 項目, 場所, 内容. Lists activities like 運営委員会, 終身会費納付書発送, 幹事会, etc.

平成28年度近畿大学農学部緑友会決算

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Shows financial details like 前年度繰越金, 終身会費, 郵便費, etc.

会計幹事 上田茂登子 会計幹事 武田 徹
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。
平成29年3月31日

監事 小林 徹
監事 谷 哲弥